

- 資料1・資料2の作業を通して作成した「カリキュラム骨子（案）」の学習項目（大項目・中項目）について、既存成果物等やアンケート及びヒアリング調査を通じて収集したプログラム等から、各学習項目の中で身につける（学ぶ）べき具体的な内容について整理し、自主防災組織のリーダーの教育・訓練カリキュラム（案）を作成。

カリキュラムの性格等について（案）

- カリキュラムは、自主防災組織のリーダーが地域において自主防災活動に取り組む上で学習することが望まれる標準的な項目をまとめたもの。しかし、単にカリキュラムのみを公開・公表してしまうと、記載された項目をすべて学ぶことが必要であるとの誤解を生じるおそれ。実際にも、学習対象者の便宜やリーダー育成の実効性等を考慮する必要がある。
そこで、結成しはじめの段階の組織や長期間実質的な活動が行われていない自主防災組織を念頭に、カリキュラムのうち最低限学ぶ必要があると考えられる等の観点から、項目を選定し、地域特性等を加味した複数の研修プログラムを作成することとしてはどうか（当該プログラムの内容については、次回検討会で議論いただく予定。）。

作業プロセス

(1) 学習項目の概要の作成

既存成果物等の学習項目の内容を参考に、資料2で作成したカリキュラム骨子（案）の大・中項目で学ぶべき事項が分かるよう、学習項目の概要を作成（別紙）。

(2) 学習項目の並び替えの実施

作成したカリキュラム骨子（案）は、例えば、自主防災組織のリーダーが学習する上で重要度、優先度が高いと考えられる学習項目の順序を必ずしも考慮しているものではないことから、学習項目の重要度等を検討の上、並び替えを実施する予定。

(3) 学習内容（メニュー）例の作成

学習項目の概要の記載を踏まえ、既存成果物等をも参考に具体的な学習内容を洗い出し、学習内容（メニュー）例を作成し、カリキュラム（案）を作成する予定。

※ (2) 及び (3) の作業結果については、次回お示しする予定

カリキュラム（案）のイメージ

大大項目	大項目	中項目	学習項目の概要	学習内容(メニュー)例
基礎	各災害の基礎知識	災害発生メカニズムと被害	地震、津波、風水害、火山災害やその他の災害発生メカニズム等についての知識、災害と被害との関係について学ぶ	○地震発生メカニズムと被害・影響 ・揺れのイメージ ・マグニチュードと震度 ・被害の種類、内容 ○風水害発生メカニズムと被害 ・台風、集中豪雨 ・洪水害、浸水害、高潮災害、竜巻災害 ・被害の種類、内容
			体験談を使って災害発生時の状況をイメージする	・各種災害の災害発生、被害・影響の拡大イメージ(映像、体験談等)